

報道関係者各位

独立行政法人 科学技術振興機構  
財団法人 日本科学技術振興財団

## 高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム！ 「スプリング・サイエンスキャンプ 2011」の参加者募集について

この度、2011 年 3 月中旬～下旬の春休み期間中に、高校生・中等教育学校後期課程・高等専門学校(1～3 学年)等に在籍する生徒を対象とした“先進的科学技术体験合宿プログラム”「スプリング・サイエンスキャンプ 2011」を、独立行政法人 科学技術振興機構の主催、開催機関の共催、事務局を財団法人 日本科学技術振興財団が担当し開催いたします。本日、参加者の募集を開始いたしましたので、お知らせいたします。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置等がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心を育てることをねらいとし、別紙「参考資料」のような成果をあげています。

### <スプリング・サイエンスキャンプ 2011 の概要>

- 開催日：2011 年 3 月 19 日 ～ 2011 年 3 月 30 日の期間中の 2 泊 3 日
- 会場：大学、民間企業（12 会場）
- 定員：受け入れ会場ごとに 8～20 名（合計 153 名） ※前年度平均応募倍率：約 3.1 倍
- 応募締切：2011 年 1 月 31 日(月) 必着

なお、詳細につきましては、別紙「スプリング・サイエンスキャンプ 2011 概要」をご参照願います。



(お問い合わせ先)

サイエンスキャンプ事務局

財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

担当：川人、西田、長尾

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号

電話 03-3212-2454(直通) FAX 03-3212-0014

E-mail [camp@jsf.or.jp](mailto:camp@jsf.or.jp)

サイエンスキャンプ事務局ホームページ [http:// ppd.jsf.or.jp/camp/](http://ppd.jsf.or.jp/camp/)

# サイエンスキャンプについて

## 1. 概要

サイエンスキャンプは、先進的な研究テーマに取り組む大学・公的研究機関・民間企業を会場に、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校(1～3 学年)等に在籍する生徒を対象とした2泊3日の先進的科学技术体験合宿プログラムです。本格的な研究環境で、第一線で活躍する研究者・技術者から実験・実習・講義等の直接指導を受けることにより、様々な分野の科学技术の先端に触れてもらう機会を提供しています。

## 2. 経緯

本プログラムは 1995 年の夏に、科学技术庁(現在の文部科学省)所管の国立研究所(現在の独立行政法人等) 9 機関を会場としてスタートしました。1997 年の第 3 回サイエンスキャンプからは科学技术庁以外の省庁(現在の環境省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、総務省)の所管する研究所も加わって規模を拡大し、毎年高校生等の夏休みにあわせて実施されてきました。

その後、2003 年の春休みからは、民間企業の研究部門や大学の理系学部や大学附属の研究所等が加わり、夏(サマー)・冬(ウインター)・春(スプリング)の年 3 回の開催になりました。

## 3. 実績

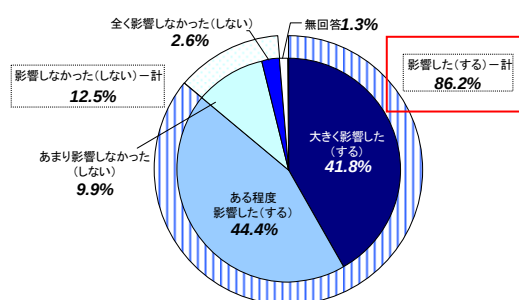
サイエンスキャンプは 2010 年で 16 年目をむかえます。2010 年の冬休みまでの参加者数は約 9,300 名(9,319 名)にのぼります。

1995 年度から 2003 年度までの参加者に対して行った追跡調査(2004 年 3 月集計)によると、サイエンスキャンプへの参加が、科学技术に対する興味・関心や進路に少なからず影響を与えていることがわかります。

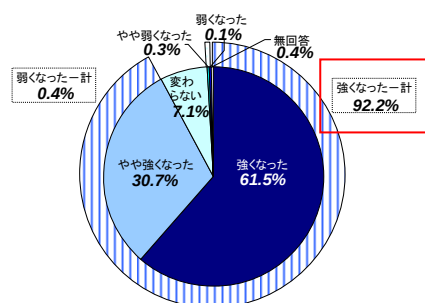
また、サイエンスキャンプの卒業生が夢を実現し、研究者や技術者となっている人も多く、さらに、サイエンスキャンプで高校生の指導にあたる人も現れてきています。

### <1995～2003 年度サイエンスキャンプ参加者に対する追跡調査結果(抜粋)>

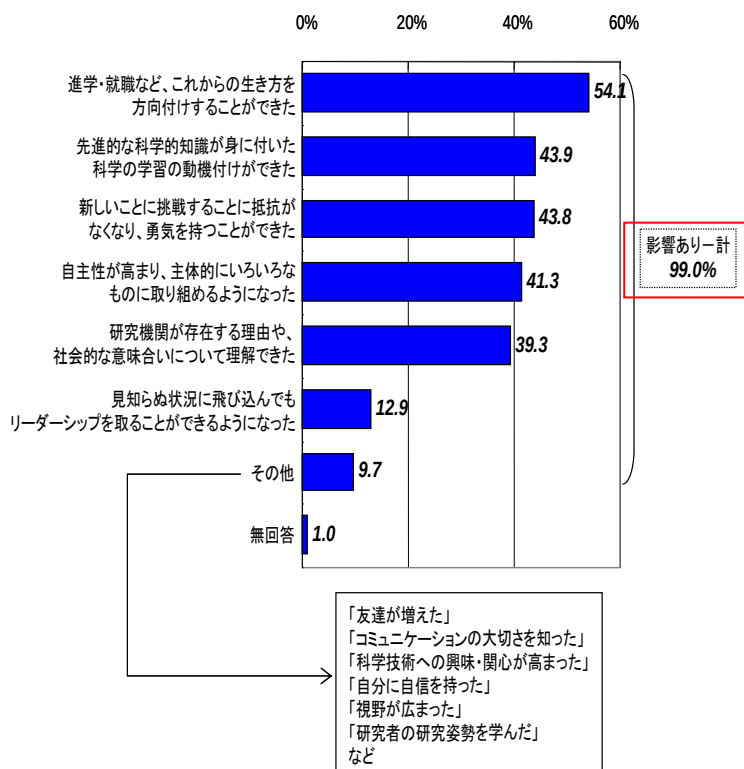
サイエンスキャンプの経験は、あなたが進学先を選択する際にどのくらいプラスの影響を与えた(あるいは与える)と思いますか? 【N=1,373】



サイエンスキャンプに参加した当手を振り返ると、キャンプに参加することで、科学技术に対するあなたの興味・関心はどのように変化しましたか? 【N=1,373】



サイエンスキャンプに参加したことで、あなた自身として新たに獲得したものはありますか? (複数回答) 【N=1,373】



# スプリング・サイエンスキャンプ 2011 概要

## 1. 趣旨

我が国は、科学技術の振興により、豊かな国民生活や社会経済の発展及び産業競争力の強化を目指しています。その実現に向けて、我が国全体の研究開発力や国際競争力を維持・向上させるとともに、安全・安心で質の高い生活環境を構築するためには、科学技術活動の基盤となる人材をいかに養成し、確保していくかが極めて重要な課題です。そのため、青少年が科学技術に夢と希望を傾け、科学技術に対する志向を高める機会の充実が求められています。

「サイエンスキャンプ」は、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置がある研究現場等で体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性や知的探究心を育てることをねらいとしています。

## 2. 事業の概要

2011 年 3 月下旬の春休み期間に、「スプリング・サイエンスキャンプ 2011」として、ライフサイエンス、環境、エネルギー、ナノテクノロジー、材料、情報工学等の分野において先進的な研究テーマに取り組んでいる大学、民間企業の 12 会場が、それぞれ 8～20 名（153 名）の規模で実施する科学技術体験合宿プログラムです。各会場は、それぞれの機関の特徴を活かした講義・実験・実習等によるプログラムを企画、実施します。参加者は 2 泊 3 日の合宿生活を送りながら、第一線で活躍する研究者・技術者による直接指導を受けます。

## 3. 主催

独立行政法人 科学技術振興機構

## 4. 共催（受入実施機関）

### [大学]

東京農業大学、慶應義塾大学、東京工科大学、国立大学法人新潟大学、大阪工業大学、国立大学法人九州大学、国立大学法人鹿屋体育大学

### [民間企業]

鹿島建設株式会社、日本電信電話株式会社、日本電子株式会社、東京電力株式会社、東レ株式会社

## 5. 後援

文部科学省

## 6. サイエンスキャンプ事務局

財団法人 日本科学技術振興財団

## 7. 応募資格

応募締切日時点で、日本国内の高等学校、中等教育学校後期課程または高等専門学校（1～3 学年）等に在籍する生徒。これまでにサイエンスキャンプの参加経験がある人でも応募できます。

## 8. 応募締切日

2011 年 1 月 31 日（月） 必着

## 9. 応募方法

「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、応募締切日必着にて、財団法人日本科学技術振興財団 サイエンスキャンプ事務局宛に郵送でお送りください。

「参加申込書」はサイエンスキャンプ事務局のホームページ (<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>) からダウンロードできます。

※必ず、保護者自署・押印のある原本を郵送してください (FAX 不可)。

※応募は1人1通のみです。複数の応募は無効となりますのでご注意ください。

## 10. 選考方法および決定通知

(1) 「参加申込書」に基づいて各プログラム実施会場が選考を行い、参加者を決定します。

(2) 選考結果は、2月下旬、応募者本人宛に郵送で通知します。また、参加者には、「参加証」とあわせて集合場所への経路や持ち物など詳細を説明した「参加のしおり」、「保護者承諾書」、「保険加入申込書」、その他参加にあたり作成いただく書類を送付します。

※「参加申込書」に記載された住所に郵送します。

**選考結果通知：2011年2月下旬**

## 11. 参加費

参加費は無料です。プログラム期間中の宿舍や食事も主催者が用意します。

※ただし、自宅と会場間の往復交通費は自己負担となりますので、ご注意ください。

## 12. 参加者引率

集合から解散までの3日間、アドバイザーの先生 (高校理科教員)、引率スタッフ1名が引率します。会場側と協力してサイエンスキャンプの運営を行い、参加者と寝食を共にしながらその学習や生活をサポートします。

### 13. プログラム一覧

| (開催日程順)                                           |                                  |                                          |          |                                  |
|---------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------------|----------|----------------------------------|
| プログラムタイトル                                         | 会場名                              | 会 期                                      | 募集<br>人数 | プログラム<br>関連分野                    |
| 氷海生態系<br>～その意外な実態を氷の上から観察しませんか～                   | 東京農業大学<br>生物産業学部<br>アクアバイオ学科     | 2011 年<br>3 月 19 日(土)<br>～ 3 月 21 日(月・祝) | 20 名     | 環境学、生態学、<br>生物海洋学                |
| ナノメートルの世界を覗く<br>～ようこそ「電子で覗くナノメートルの世界」へ～           | 日本電子株式会社<br>本社・昭島製作所             | 2011 年<br>3 月 22 日(火)<br>～ 3 月 24 日(木)   | 9 名      | ナノテクノロジー・材料、<br>電気・電子工学          |
| 地球にやさしい情報通信の最先端                                   | 日本電信電話株式会社<br>厚木研究開発センタ          | 2011 年<br>3 月 22 日(火)<br>～ 3 月 24 日(木)   | 10 名     | 情報通信工学、<br>光通信工学、<br>環境情報工学      |
| CO <sub>2</sub> を減らす 2 つの取り組み<br>～電気をつくるとき・つかうとき～ | 東京電力株式会社<br>技術開発本部<br>技術開発研究所    | 2011 年<br>3 月 22 日(火)<br>～ 3 月 24 日(木)   | 12 名     | エネルギー、環境、<br>持続可能な社会、<br>低炭素社会   |
| 最先端の遺伝子工学とシステムバイオロジー                              | 慶應義塾大学<br>先端生命科学研究所              | 2011 年<br>3 月 23 日(水)<br>～ 3 月 25 日(金)   | 16 名     | 遺伝子工学、<br>メタボローム解析、<br>システム生物学   |
| 安全で快適な街づくりとは？<br>～いきものにぎわうまち～                     | 鹿島建設株式会社<br>技術研究所                | 2011 年<br>3 月 23 日(水)<br>～ 3 月 25 日(金)   | 12 名     | 建築学、風工学、<br>材料工学、環境学             |
| スポーツ科学の最前線<br>～From Gene to Gold～                 | 国立大学法人鹿屋体育大学<br>体育学部             | 2011 年<br>3 月 25 日(金)<br>～ 3 月 27 日(日)   | 16 名     | 運動生理学、<br>バイオメカニクス、<br>スポーツ医学    |
| 「音」を科学する<br>～音声の分析と合成を体験してみよう～                    | 国立大学法人九州大学<br>芸術工学部<br>音響設計学科    | 2011 年<br>3 月 26 日(土)<br>～ 3 月 28 日(月)   | 10 名     | 物理学、情報学、<br>音響学、<br>実験心理学        |
| おいしさを科学する<br>～食品科学入門～                             | 東京工科大学<br>応用生物学部                 | 2011 年<br>3 月 28 日(月)<br>～ 3 月 30 日(水)   | 20 名     | 食品科学、<br>有機化学、<br>分析化学           |
| 脳を見る、知る、調べる                                       | 国立大学法人新潟大学<br>脳研究所               | 2011 年<br>3 月 28 日(月)<br>～ 3 月 30 日(水)   | 8 名      | 神経科学                             |
| ナノテクを使ったカラフル太陽電池の製作                               | 大阪工業大学<br>ナノ材料マイクロデバイス<br>研究センター | 2011 年<br>3 月 28 日(月)<br>～ 3 月 30 日(水)   | 12 名     | ナノテクノロジー、<br>材料工学、<br>エネルギー・環境   |
| 21 世紀の地球環境改善へ<br>～水処理分離膜の技術～                      | 東レ株式会社 地球環境研究所<br>株式会社東レリサーチセンター | 2011 年<br>3 月 28 日(月)<br>～ 3 月 30 日(水)   | 8 名      | 地球環境、水処理、<br>分離膜、分析化学、<br>機能性高分子 |

### 14. 応募先・問い合わせ先

サイエンスキャンプ事務局：

財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号  
電話： 03-3212-2454 FAX： 03-3212-0014  
E-mail： [camp@jsf.or.jp](mailto:camp@jsf.or.jp)

サイエンスキャンプ事務局ホームページ：<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>